



『ヒーローチャレンジ・エンジョイ 3 時間耐久』

2019 年度規則書

第 1 条 開催目的

本大会は、ドライビングの技術向上及び参加者間の親睦や情報交換の場を共有することでモータースポーツ文化の更なる継続を目的に開催されます。

第 2 条 主催者 / 開催場所

〒321-2102 栃木県宇都宮市篠井町 1804 ヒーローレのいサーキット (1.350m)
 栃木県宇都宮市篠井町 1804
 TEL : 028-669-1031 / FAX : 028-669-1032

第 3 条 参加資格

- 普通自動車運転免許証所持者。
- サーキットでのルールやマナーを守って走行・観戦ができ、本大会の規則を理解・承諾した者。
- 未成年者の場合、親権者の承諾を得た者。(「未成年者誓約書」に親権者の署名・捺印が必要)
- 1 周のラップタイムが 51 秒を切ってしまう車両はお断りします。

第 4 条 開催日程

	開催日時	申込受付期間
第 1 回	3 月 17 日 (日)	2 月 15 日(金)~2 月 28 日(木)
第 2 回	6 月 23 日 (日)	5 月 23 日(木)~6 月 6 日(木)
第 3 回	9 月 22 日 (日)	8 月 22 日(木)~9 月 5 日(木)

- 全て 3 時間の耐久となる。※シリーズ戦ではありません。
- 受付開始は申込受付日の 0:00~となる。※フライングでの申込みは受付初日の最終枠での受付とする。
- レース詳細は大会毎の案内掲示時に発表となる。

第 5 条 参加申込

- 受付期間
開催日程に記された申込受付期間内に申し込むこと。
- 参加料金
1 戦 1 台 : 20,000 円
- 募集台数と参加人数
 - ・募集台数は先着 20 台とする。
 - ・ドライバーは参加車両 1 台につき 2 名~5 名とする。(ピットクルーの人数制限はない。)
 - ・同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。
- 申込方法
 - ① 「参加申込書」と「車両申請書」に必要事項を記入し、受付期間内にメールかFAXにてお申込みください。 (当サーキット窓口でも受付可能です。)

※この時点ではまだ入金を行わないでください。

【 各書類の申込先 】
〒321-2102 栃木県宇都宮市篠井町 1804 ヒーローレのいサーキット
メール : hero@he-ro.co.jp / FAX : 028-669-1032

② 事務局にて書類を確認した上で、チーム代表者様宛に参加の可否をメールか電話にてお知らせします。参加可能となったチームは、指定された期日までに口座へ入金して下さい。

【 参加費の振込先 】
埼玉県信用金庫 森林公園支店
普通口座 0689491 / 口座名：ヒーローしいサーキット

※振込人名は、代表者名もしくはチーム名とする。※振込手数料は参加者負担となる。

■ 参加受理

全ての手続きが完了した時点で申込みは成立となる。

参加受理は各チームの代表者様へメールか電話にて連絡する。

■ 参加のキャンセル

受付期間内のキャンセルのみ可能。事務手数料 1,000 円を差し引いた金額を振込みにて返金する。

※受付期間を過ぎた後のキャンセルは認めない。決勝は DNS（リタイア）扱いとする。

第 6 条 クラス区分／規程

1. クラス

自然吸気および過給器付き車両について、次の2クラスに分けられる。

Turbo 【過給機付きエンジン搭載のノーマル車両】
NA 【自然吸気エンジン搭載のノーマル車両】

2. 車両規則

■ ボディ系

・国内で生産された軽自動車規格の車両で、排気量は660cc未満であること。（1BOX、軽トラックは不可。）

・ロールケージの取り付けを推奨する。装着する場合は、フロント4点式以上のロールケージであることが望ましい。装着の際は、運転席側ピラー部分に緩衝材を巻くこと。

・オープンカー（ビート、カブチーノ、コペン等、屋根の開閉ができる車両）と、ボディパネルの穴あけ加工等を行って強度が劣ってしまった車両についてはフロント4点式以上のロールケージの装着を義務付ける。

・運転席のドアパネルの加工は、内部パネルを含め禁止とする。

・フロントガラスは純正と同じ合わせガラスを使用すること。

・サイドガラス/リアガラスについては、飛散防止対策として、無色透明なフィルムの貼り付けか、無色透明なパネルへの変更が可能。穴あけについては、視界を妨げず強度が落ちない範囲であれば認める。

（インタークの取り付け可能。車体外部に取り付ける場合、全幅が変わらない範囲であること。）

・ガラスへの視界の妨げになるようなスモークフィルムやステッカーの貼り付けは禁止とする。

・外部ミラーは左右側面に取り付けられ、室内ミラーも含め機能していること。※エアロミラー使用可能。

・給油口のカバーは、内側のキャップがしっかり閉まり、燃料漏れが無いことを条件に取り外すことができる。

・ボンネットの加工や交換を行う場合、走行中に浮き上がることが一切無いように装着すること。

・フェンダーの爪折り、軽度な叩き出し加工までは認める。インナーフェンダーの取り外しも認める。

オーバーフェンダーやプリスターフェンダーの使用は禁止とする。

・過度の突起物パーツの取り付けや、車幅/全長を大きく超えるエアロパーツの装着は禁止とする。

・前後に牽引フックが装着されていること。スポイラー等で牽引フックの使用が困難な場合は、別途牽引フックを追加すること。前後のバンパー部分には牽引フックの位置を矢印「↓」にて表示すること。

■ エンジン系

・エンジンは排気量 660 cc未満で車両と同一メーカーのエンジンであること。

・エンジン、ミッション、コンピューターは無加工の純正品を使用すること。機械式 LSD の装着は不可。

・加給器、アクチュエーターの変更/改造やNA車への追加装着禁止。ブーストコントローラーの装着は不可。

・ラジエーターの変更、オイルクーラーの追加を認める。オイルクーラーは損傷しにくい場所に設置すること。

・ブローバイガスを空中排気する場合、排気量以上の容量がある金属製のオイルキャッチタンクを装備しオイルが飛散しないようにすること（2ℓ以上を推奨）。針金やテープでの簡易固定は禁止とする。

■ 燃料タンク

・無加工の純正タンクを使用し、純正位置に搭載されていること。

・コレクタータンクの使用禁止。

■ その他

・マフラー音量は 100db 以下であること。直管マフラーの使用は制限音量以下であっても禁止とする。

- ・サスペンション、ブレーキ、駆動系の変更や補強は認めるが、強度が低下するような改造は認めない。
 - ・タイヤは市販のラジアルタイヤのみ使用可能で、サイズは15インチまでとする。
 - ・タイヤ、ホイールはフェンダーよりはみ出すことなく、他の部分とも接触していないこと。
 - ・ダッシュボードと運転席側ドアの内装は純正品を利用し、ロールバー取り付け加工以外の切除加工は認めない。
 - ・ステアリングホイールの交換、パワーステアリングシステムの取り外しは自由とする。
 - ・運転席には4点式以上のシートベルトを装着すること。※ベルト基部は車体に確実に固定すること。
 - ・運転席のシートはバケットシートであることが望ましい。※フロアマットは取り外すこと。
 - ・エアコン、カーペット、防音材、防振材、助手席、後部座席等安全上支障の無い部品の取り外しは認める。
 - ・バッテリーの搭載位置の変更を認める。バッテリーの重量に耐えられる台を利用し確実に固定すること。
室内へ引き入れる場合は隔壁又は不燃製品で覆うこと。※ドライバッテリーを除く。
 - ・バッテリーターミナル(+)、ブレーキやクラッチのリザーバタンク等のキャップ類、全ての灯火類にはテーピングを施すこと。
 - ・油脂類の漏れ防止策を講ずること。レベルゲージの抜け防止策もあわせて講ずること。
 - ・灯火類（ヘッドライト、ウインカー／テール／ブレーキ／バックランプ）とワイパーは正常に作動すること。
 - ・ウィンドウネットの装着は自由とするが、取り付けの際は **規則書付随書類②** を確認し、装着すること。
- ※ナンバー付き車両の場合は、公道を走行する際には自己責任において一般車検に合致できる状態に戻すこと。
※楽しくイベントを行うため、明らかな性能差が認められた車両には何らかのハンデを科す場合がある。

3. 安全装備

- ドライバーは、次の物を着用すること。（全て燃えにくい素材であることが望ましい）
- ヘルメット（JIS規格C種以上のフルフェイス型またはジェット型を推奨とする。）
 - レーシングスーツまたは長袖長ズボン（怪我や火傷から身を守るよう厚手の生地が望ましい）
 - グローブ（自動車の運転用で指先まで覆うも）※軍手不可
 - シューズ（運転に適したもの）

第7条 参加受付

- レース当日、各チームの代表者は、定められた時間内に参加受付を完了させること。

- 参加受付をする際、ドライバー全員分の署名・捺印された「誓約書」を提出すること。
- 未成年者は、『未成年者誓約書』を提出すること。（提出が無い場合、参加ができない。）
- 申請済みの書類に変更がある場合は、参加受付時に修正済みの書類を提出すること。

第8条 ゼッケン

- 各チームにて作成し、ボンネットと左右側面の最低3箇所に貼り付けること。
- ゼッケン番号は識別しやすい書体・色・太さであること。

第9条 計測器

- 参加受付時に計測器とホルダーを貸与する。※取り付け位置／方法は受付時に指示する。
 - 計測器とホルダーは、レース終了後速やかに受付まで返却すること。
- ※計測器を破損・紛失させた場合、弁償すること。《計測器 50,000 円／ホルダー 2,000 円》

第10条 車両検査

- すべての参加車両は、定められた時間内に車両検査を受けなければならない。
- 検査の結果、不適当と判断された車両は、全ての走行への参加ができない場合がある。

第11条 ピット・パドックにおける遵守事項（※規則書付随書類①参照）

- パドック内では指定された方向へのみ走行ができる。逆走は禁止とする。
- ピットロードは徐行にて走行すること。（時速 20km 以下厳守）
- ピットロードおよびパドックではバックギアの使用は禁止とする。車両をバックさせる場合は周囲の安全に注意しながら手押しで移動させること。
- ドライバー交代エリアでは、ドライバー交代の他、ホイールナットのトルクチェック、タイヤのエアチェック、窓拭き、軽微な修理のみ行える。ジャッキアップが必要な場合や、その他の作業についてはピット内で行うこと。
- レース中にピットインした際は、必ずピット担当オフィシャルの前で一時的に停止すること。オフィシャルがタイムカードへ時刻の印字を行い、カードを手渡す。

■ レース中、「義務ピットイン」を2回以上行うこと。

※「義務ピットイン」とは、『ドライバー交代を行うピットイン』のこと。

※ レッカー移動によるピットイン・赤旗提示後のピットイン・赤旗の原因となった車両のピットイン・黒旗や

オレンジポール旗等競技長指示でのピットインの場合は「義務ピットイン」の回数には含まない。

※同じドライバーの継続乗車は義務ピットインとは認めない。必ず他のドライバーへ交代すること。

※ドライバー1人の最低連続搭乗周回を5周以上とする。(5周に満たない場合、回数にはカウントしない。)

■ ピットアウトの際は、コースイン担当オフィシャルの指示に従いコースへ進入すること。

第12条 燃料給油 <<ピット内での給油は禁止>>

■ ガソリン携行缶は各チームにて保管すること。

■ 給油は、給油エリア内で金属製携行缶からの自然落下でのみ行える。(車両を持ち上げての給油は禁止。)

■ 給油エリア以外での給油や、給油可能時間帯以外の給油は禁止とする。(発覚した場合は失格とする。)

■ 給油中は必ずエンジンを停止させ、給油以外の作業が一切禁止となる。

■ レース中の給油は、消火担当者が給油口へ消火器を構えてから行うこと。(備え付けの消火器の使用可能。)

■ レース中の給油は、給油担当者及び消火担当者は耳まで覆うヘルメット、長袖、長ズボン、靴を着用すること。

(レース以外の時間帯の給油は、ヘルメットや消火器の準備は必要無いが、安全に十分配慮すること。)

■ レース中、1回に給油できる量は20ℓ携行缶1缶のみとする。

■ レース中に給油を行う場合は、安全の為5分間の『給油タイム』を義務付ける。

■ 漏れたガソリンは確実に拭き取り、地面にこぼれた場合はオイル処理剤による処理を行うこと。

■ ドライバー交代や作業を行う場合は各指定場所へ移動後に行うこと。

第13条 走行における遵守事項

■ シートベルト／ヘルメットの顎紐を確実に締め、グローブ等を着用し、運転席の窓は全閉にして走行すること。

■ タイヤウォーマーの使用、ジャッキアップをしておきの暖気は禁止とする。

■ ピットおよびピットロードでの押しがけは禁止とする。

■ 縁石をジャンプ等でショートカットする走行方法を禁止とする。

■ クラッシュやトラブルによりコース内で停止する場合、やむを得ない場合を除き、走行ライン上やコーナー付近を避け、ハザードランプを点灯させた上で安全な場所で停止し、オフィシャルの指示があるまで安全装備を外したり降車したりせず車内で待機すること。但し、火災や横転等緊急時はすぐに降車し、安全な場所へ避難すること。

※コース上にオイル等を撒き散らす恐れのあるトラブルが発生した場合は、速やかにマシンを止めること。

■ やむを得ずコースを外れた場合は、減速し、安全を確認した後にコースへ復帰することができる。

■ コース内でトラブル等により走行不能となった車両は、パドック内専用エリアまでレッカー移動される。

※予選時の再走行は禁止とする。※レース中の場合は、再走行は可能だが義務ピットイン回数には含まない。

■ クラッシュやレッカー移動でピットインした車両に関しては、車両の修復後、オフィシャルスタッフによる車両チェックを受け、再走行の許可が下りればコースインが可能となる。

第14条 フリー走行／予選

■ フリー走行は、ドライバー登録を済ませている者同士であれば同乗走行を許可する。

※同乗走行は、2名乗車のみで同乗者の安全装備は運転者と同等であること。

■ 予選は、同乗走行を禁止とする。ベストタイムの上位よりスターティングポジションが決定される。

※予選が行えなかった場合はフリー走行のタイムをスタート順とする。

■ フリー走行／予選中に事故等で車両の回収やコースメンテナンスが必要となった場合、赤旗により走行が中断される。コース内を走行している車両は速やかにピットインすること。

■ 予選にてタイムを残せなかった車両はピットスタートとなる。

第15条 スタート

■ スタート方式

レースは全てローリングスタートとする。

■ グリッド

1) 予選のベストタイム順にスターティングポジションが決定される。

2) 定められたコースイン時間内に各車コースインを行い、指定のグリッドへ着く。

3) チーム員は、コース内に入り車両をグリッドへ誘導すること。

※グリッド上では、ホイールの増し締め・タイヤのエア調整・窓拭きのみ可能。

- 4) **5分前ボード** - 秒読み開始。コース上における全ての作業が禁止される。
- 5) **3分前ボード** - ドライバー、オフィシャルを除くすべての者は1分前までにコース上から退去する。
- 6) **1分前ボード** - ドライバーは車両に着座し、全ての準備を整えた上でエンジンを始動する。

■ スタート方法

・ローリングスタート

- 1) セーフティーカー先導による**フォーメーションラップを2周行う**。
- 2) セーフティーカーが**サイレンを鳴らし、それを合図に動き出す**。計測も同時にスタートとなる。
- 3) セーフティーカーがルーフ上の回転灯を消灯し、ピットに入り、メインポストにて緑旗が振られたらレースはスタートとなる。**追い越しは、メインポストでは無く、計測ラインを通過してから可能**となる。

・フォーメーションラップ

- 1) 追い越しや隊列を乱す行為は禁止とする。
- 2) トラブルなどでスタートできない場合は、手を振ってオフィシャルおよび後続車両に合図を送ること。オフィシャルの補助による押しがけを行い、スタートできた場合は隊列の最後尾へ着くことができる。スタートできない場合はピットへと戻される。
- 3) フォーメーションラップ中のピットインは禁止とする。
- 4) **セーフティーカーは安全の為、ピットロードではなく最終シケインのエスケープゾーンから直接ピット(パドック)へ入る。※これは全てのスタート(再スタートを含む)で適用される。**
- 5) **セーフティーカーは、時速60km以下で走行し、スタート時は安全の為、時速40kmまで落とす。**

■ ピットスタート

- 1) 予選にてタイムを残せなかった車両、規定時間内にコースインできなかった車両はピットスタートとなる。
- 2) ピットスタートの車両は、メインポストにて緑旗が振られた後、全車両がメインポスト前を通過した後にオフィシャルの合図によりスタートとなる。
- 3) ピットスタートの車両は、フォーメーションラップに参加できない。
※フォーメーションラップ分の周回数が少ない状態でのスタートとなることを承諾すること。

第16条 セーフティーカー（以下、SC）※決勝中のみ

- 事故や悪天候等で競技の継続に支障があるが、中断の必要がない場合、全ポストで黄旗振動表示/信号は黄色点滅となり、SCを導入して周回を行う場合がある。その際、メインポストからは[SCボード]の表示があり、追い越しは禁止となる。SC導入中は、SCはルーフ上の青色回転灯を点灯させる。

- SCは隊列の状況に合わせた速度で走行する。各車両は周囲に注意しながら走行を続けること。

- SC導入から再スタートまでの手順については以下の通り。

① SC導入の事案発生、全ポストから黄旗振動表示。メインポストからは[SCボード]も表示される。

② SCは、ルーフ上の青色回転灯を点灯させ、最終シケインのエスケープゾーンからコースインする。

← **SC** □□□□□■□□□□□□□□□□ (■がトップ車両)

③ 現場での作業が終了するまではこの状態が維持される。

④ SC導入中のピットインは自由だが、ピットアウトについてはSCが第2ヘアピンを通過した時点から禁止となる。隊列最後尾の車両がメインポスト前を通過したらオフィシャルの指示によりコースイン可能となる。

⑤ 現場での作業終了後、トップ車両捕まえ作業開始。

← **SC** ■□□□□□□□□□□□□□□□ (■がトップ車両)

※追い越しの指示を受けた車両はSCを追い越し、安全かつ速やかに隊列の最後尾に着くこと。

⑥ SCはルーフ上の回転灯を消灯した1周後に最終シケインエスケープゾーンからピットに入る。

⑦ メインポストにて緑旗が振られたらレース再開となる。追い越しは計測ラインを通過してから可能となる。

- トップの車両が隊列に加わっていない場合は、隊列の変更なく再スタートとなる場合がある。

第17条 レースの中断（赤旗）※決勝中のみ

- 事故や悪天候等でレース続行が困難となった場合、全ポストで赤旗振動表示/信号は赤色点滅となり、競技が中断される場合がある。(レースも時計システムも停止することは無い。)

- 全ての走行車両は赤旗掲示後、周囲に注意しながら速度を落とし、コースインしたSCの後に続き指定された場所で停車すること。(基本的にはバックストレートで停車する。)

- 赤旗が掲示された時点でピットクローズとなり、ピットイン/ピットアウトが禁止となる。

- 赤旗が掲示された時点ですでにピットに入っていた車両は、作業を継続して行うことができる。

■ 赤旗掲示後にピットインしてしまった車両は、ピットをスルーしてピット出口で待機すればペナルティーは与えない。この時に作業等を行った場合はペナルティーとなる。

■ 再スタートまでの手順については以下の通り。

① 赤旗の事案解消後、停止している隊列の整列を行う。

← **SC** □□□□□■□□□□□□□□ (■がトップ車両)

② SC とトップの間にいる車両に対し、SC を追いつき最後尾へ着くよう指示を出す。(ピットイン禁止)

← **SC** ■□□□□□□□□□□□□□□ ※ピットに入らず最後尾に着くこと。(■がトップ車両)

③ 全ポストで黄旗振動表示／信号は黄色点滅となり、SC 先導により走行が再開される。(ピットイン可能)

④ SC が動き出す前にすでにピット出口で待機していた車両は、SC の隊列が通過した後にコースインすることができる。SC が動き出した後にピット出口に並んだ車両に関しては、レース再開後のコースインとなる。

⑤ SC はメインポスト前でルーフ上の回転灯を消灯し、1 周回後にピットに入る。

⑥ メインポストにて緑旗が振られたらレース再開となる。追いつきは計測ラインを通過してから可能となる。

■ トップの車両が隊列に加わっていない場合は、隊列の変更なく再スタートとなる場合がある。

■ 赤旗表示のままチェッカー予定時刻となった場合、競技長の判断によりレース終了となる。その際は、赤旗表示となる 1 周回前の順位を正式結果とする。

第 18 条 レースの終了

■ レース終了時刻を経過した時点で最も周回数が多い先頭車両に対し、メインポストからゼッケン番号の提示と共にチェッカー旗が振られ競技を終了する。

■ レース終了時刻となった時点で、ピット出口は閉鎖される。

■ チェッカー旗を受けられなかった車両はリタイアとなる。

■ 終了まで残り 10 分を切った時点での停止車両については、危険な場合を除き回収作業は行わない。
ドライバーは、レース終了後にレッカー車が到着するまでの間、安全装備を着けたまま車内で待機すること。

■ スタートが遅れた場合でも、レース終了時刻はタイムスケジュールに記載された時刻とする。

※天候悪化や事故等により、競技長の判断で競技時間の短縮を行う場合がある。その際、義務ピットインが済んでいないチームには 1 回につき-3 周をリザルトに反映し正式結果とする。

■ イベントは決勝レースがスタートした時点で成立とする。

第 19 条 リタイア (棄権)

■ リタイア (棄権) する場合は、計測器を返却すると共にその旨をオフィシャルへ届けること。

■ フロントガラスのクモの巣状のひび割れ、外部ミラーの脱落は、修復ができない場合リタイアとなる。


■ 損傷の程度によっては、オフィシャルスタッフの判断によりリタイアとする。

■ 油脂類の漏れについては、修復が完了するまでコースインを認めない。

第 20 条 信号合図 (旗・シグナル)

ドライバーは、ポスト等で表示される次の信号合図を熟知し、従わなければならない。


↓全ポスト／信号での表示

 緑 (旗・信号) … 走行開始。レース開始・再開の合図。黄旗区間の解除。

 黄 (旗・信号) … 前方に停止車両や落下物等何らかの危険あり。減速。追いつき禁止。


 赤 (旗・信号) … 競技の中断。追いつき禁止。決勝レース以外の走行時はピットへ戻ること。


↓メインポストのみでの表示


 青旗 … 周回遅れの車両に後ろからより周回を重ねていてタイムも速い車両が接近していることを示す旗。

レース中、表示の必要がある場合のみ使用される。この旗を振られた車両は直ちに進路を譲ること。

 チェッカー旗 … 競技の終了。終了後は徐行し追いつき禁止。

 オイル旗 … 路面が急激に滑りやすい状況になったことを知らせる旗。追いつきは可能。(不動表示)

 黒旗 … 他のマシンへの妨害行為や危険行為とみなされる規則違反を行ったことを示す。(不動表示)
表示されたゼッケンの車両は直ちにピットインすること。違反内容によっては罰則も与えられる。

 オレンジボール旗 … 車両に何らかのトラブルが発生していることを示す。(不動表示)
表示されたゼッケンの車両は 3 周以内にピットインすること。

SC SC ボード … SC 導入の合図。全有人ポストで黄旗が振られフルコースコースクションとなる。

 ゼッケンボード … ゼッケン番号が表示される。(青旗、黒旗、オレンジボール旗で併用される。)

※その他、違反車両へのみ出される「窓閉めて」や「服装チェック」のボードがある。

第21条 罰則（ペナルティー）及び抗議 ※ペナルティーは決勝のみ対象となる。

- 違反行為をオフィシャルスタッフに確認された場合のみ、チームには以下のペナルティーが科される。

1) 警告のみ

- ・窓開け走行（ウインドウネット非装着車で運転席の窓を開けたまま走行している当該車両）
- ・走行時の服装違反（ヘルメットの装着違反、腕まくり、裾まくり、グローブ未着用等）

※メインポストから警告ボードにて指示を出す。3周以内に改善させた場合は警告のみとする。

3周以内に改善されない場合と、同一車両による違反の場合、1周減算とする。

※これらの指示によりピットインした場合、義務ピットイン回数にはカウントされない。

2) 決勝結果から1周減算

- ・受付および車検への遅刻
- ・レース時間帯以外の時間に犯した違反
- ・スタート進行時、グリッド上での諸違反
- ・反則スタート（フライング等）
- ・黄旗区間での違反（追い越しやスピン等）
- ・危険運転（故意によるコースのショートカット、スピンやコースアウト後の強引なコース復帰やコース横断等）
- ・ブロッキング（上位車両の追い越しを妨害し続ける行為）
- ・ダブルチェッカー

3) 決勝結果から2周減算

- ・オフィシャルの指示の無いSC追い越し（追い抜き）、ピットアウト等の行為
- ・給油エリアでの作業違反と安全義務違反
- ・ピットロードおよびパドックでの速度違反と作業違反（バックギアの使用含む）

4) 決勝結果から5周減算

- ・給油タイム（5分間ストップ義務）違反
- ・義務ピットイン（ドライバー交代）回数不足
- ・赤旗時（決勝中）にピットインした上で何らかの作業を行った場合

5) 決勝結果から10周減算

- ・衝突行為（状況に関係無く、相手車両が横転する原因となる衝突を起こした当該車両）

6) 失格

- ・給油エリア以外での給油や給油可能時間帯以外の給油
- ・故意による衝突行為や妨害行為、暴言を吐く等悪質なマナー違反
- ・指定場所以外での喫煙／火気の使用やドライバーの飲酒、参加登録をしていない者の走行

※最終シケイン進入での無理な追い越し追い抜きは危険運転としてペナルティーが科される。

※その他、違反行為によって罰則が適用される場合がある。

- 本大会においての抗議は受け付けない。（参考意見として、提案等がある場合はお聞かせ下さい。）
- 車両破損やトラブルに対するクレーム、保証の請求は一切受け付けない。

第22条 賞典

■ レース賞典

- ・各戦の表彰はクラス毎に行われ、記念品と副賞が贈呈される。

■ 賞典の制限

賞典は各クラスの参加台数によって制限される。

各クラスの参加台数が2台もしくは3台の場合	1位のみ
各クラスの参加台数が4台の場合	2位まで
各クラスの参加台数が5台もしくは6台の場合	3位まで
各クラスの参加台数が7台以上9台以下の場合	4位まで
各クラスの参加台数が10台以上の場合	5位まで

※参加台数が1台のみのクラスがある場合は、『混合660』1クラスでのレースとする。

第23条 ハンディキャップ

- 学生・60歳以上・女性のドライバーが参加する場合、+1週のハンデを与える。

※1 チーム最大+2周まで。（当日受付時に該当者本人が身分証明書等を持参し申請すること。）

第24条 参加者の遵守事項と注意事項

- すべての参加者はオフィシャルの指示に従うこと。
- すべての参加者は常に安全の確保を留意すること。
- 本大会は特殊なパドックレイアウトとなる。参加者やチーム関係者によるピットロードへの飛び出し等、危険な行為が発覚した場合、当該チームに対しペナルティーを科す場合がある。
- 他の参加者に対し罵声を浴びせる行為や、大声で騒ぐような行為を禁止とする。
- サインボードエリアでの傘（日傘含む）の使用は禁止とする。
- ピット内のコンセントは車両整備にのみ使用可能。電気ポットやストーブ等の家電製品への使用は禁止とする。
- チーム内での通信機器（無線や携帯電話）の使用は自由とする。
- 不明な点がある場合は、開催日までに主催者に質問し解決すること。
- 【喫煙所】以外の場所での喫煙や火気の使用は一切禁止とする。
- 著しくルール、マナーを守れないチームは、以後のレースの出場を拒否する。
- 本大会規則は予告無く変更される場合がある。

車両については、設備や時間の都合上『全て』を確認することはできません。

見えない部分に関しては、皆様の良識にお任せすることになっていきます。

規則書には抜け道やグレーゾーンがあるかと思いますが、

「書いてないからやってよい」ではなく、規則を遵守した車両作りをお願いします。


HERO SINOI CIRCUIT

ver.2 2019.1.31 修正版発行

※日程の誤りを修正しました。

▼ピットイン・ピットアウトについての補則事項（規則書第11条）

1. ピットインについて

1) ピットインを行う車両は、パドック内ピットロード入口に設置されるタイムカード印字場所で停止して下さい。担当オフィシャルがタイムカードに時刻を印字させ発券します。

※印字された時刻が【ピットイン時刻】となります。

2) その後、各チーム員が『ゼッケンNo.』の記入と『ピットインの目的』にチェックを入れてください。
 ※筆記用具は各自で用意して下さい。

↑ ピットイン時刻印字場所		↑ ゼッケンNo.	
13:07-07 13:35		100	
↑ チェックを入れてください			
<input checked="" type="radio"/> ドライバー交代	↑ 指定場所にて行うこと		
<input checked="" type="radio"/> 給油	↑ 給油エリアで行うこと（5分間のピットストップ）		
<input type="radio"/> その他			
↑ ピットアウト時刻			
※ピットアウト時刻は記入せず、ピット出口のスタッフに風して下さい。			

例)

！ 重要
ゼッケン番号と
ドライバー交代への
記入が無い場合、
義務ピットインの回数に
カウントされません。

例) 100号車が13:35にピットインし、ドライバー交代と給油をする 場合。
 給油を行う場合は「13:35」から5分間停止となる為、ピットアウト可能時刻は「13:40」となる。
 「ピットアウト時刻」とは、ピットアウトして計測ラインを通過した時刻を指す。

※タイムカード発行待ちの渋滞を予測した上でピットインしてください。

※「義務ピットイン」や「給油」を行う際は必ずカードを受け取り、記入してください。

※給油を行ったチームはピットにて5分間時間調整をしてください。ピット出口で待つことはできません。
 ピット出口のスタッフはコースインの誘導のみ行うので5分経過より前にピット出口に来た場合でも、そのままコースインとなり、給油ストップ義務違反でペナルティーとなる場合があります。

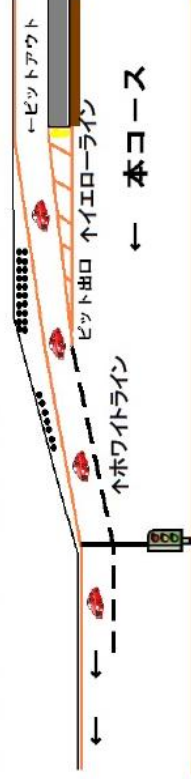
2. ピットアウトについて

1) 予定の工程を終えた車両はピット出口へ向かいます。

2) ピット出口のスタッフへカードを渡すとコースインとなります。コースの特性上、コース内が混雑している場合は事故防止の為、車両の間隔が空いている場所でしかコースインができません。

※安全の為です。ご了承ください。

3) コースインする車両は、コース上を走行している他の車両に注意しながらピット出口のイエローラインとホワイトライン（点線）をカットしないようにコースへ合流してください。



4) コース合流後も十分な速度に達するまでは、ホームストレートの右側を走行してください。

5) コース上を走行している車両はホワイトラインを横切ることができません。

6) ピットアウトの際、ホワイトラインをカットしたり低速のままコースを横断するような行為を行った場合、ペナルティーの対象となる場合があります。

3. 「義務ピットイン」について

「義務ピットイン」とは、レース中にピットインし、ドライバー交代を行うことを指します。

※レッカー移動によるピットイン、赤旗提示後のピットイン、その他競技長指示によるピットインの場合は「義務ピットイン」の回数にはカウントされません。

▼ウィンドウネットについて

・ウィンドウネット（保護ネット）を装着する場合には、以下のものを装着すること。

JAFまたはFIA、その他安全規格に沿った品物であること。

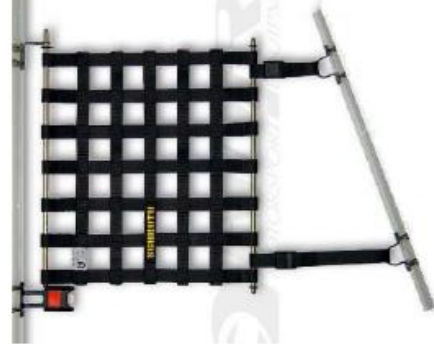
サイズ	縦	450mm以上	網目	最小	25×25mm
	横	550mm以上		最大	60mm×60mm
	帯	19mm以上			

※上記サイズを基本とするが、安全規則に沿った品物であれば使用を許可する場合もある。

このネットは、車体が転倒した場合でもその役割を果たし、事故等でドアが開かなくなった際にはすぐに窓から脱出できるよう、瞬時に外れるシステムを用いて、ロールケージまたは車体の動かない部分に取り付けなければならない。

ネットは、横から見て、ステアリングホイールの中心から、見ている側の座席の最後部点まで塞がなければならない。

例



- ・上下はロールケージや車体の動かない部分にしっかりと固定すること。
- ・脱出の際にはマジックテープやバックルタイプですぐに外れるタイプの品物を推奨とする。